

第2回ふくしま減塩推進ネットワーク会議 実施報告概要

- 令和8年1月29日（木）13:15～15:30にて関係者会議として、第2回ふくしま減塩推進ネットワーク会議を開催した。
- 関係者（福島食育応援企業や大学、職能団体・組合、市町村、保健福祉事務所等）87名の参加した。

第2回ふくしま減塩推進ネットワーク会議	
日時	令和8年1月29日（木）13:15～15:30
場所	ウィル福島アクティおろしまち コンベンションホールA
参加者	87名 ー以下、内訳ー <ul style="list-style-type: none">福島県食育応援企業：43名職能団体、組合等：9名市町村：23名保健福祉事業所：5名県外の自治体：7名
内容	<ol style="list-style-type: none">開会行政説明「減塩推進に関する取組の振り返り」取組発表 「ふくしま減塩アクションプロジェクト参画事業者の取組」<ol style="list-style-type: none">イオン東北株式会社亀田製菓株式会社株式会社マルト商事グループディスカッション テーマ「家庭につながる減塩推進について」助言 女子栄養大学 副学長 武見 ゆかり 氏総評 福島県立医科大学 医学部循環器内科学講座 教授 石田 隆史 氏閉会

当日写真 1/5

▼ グループディスカッション



▼ ご意見シート記入



▼ 助言 武見 ゆかり 氏



▼ 総評 石田 隆史 氏



▼ 取組発表 イオン東北株式会社



▼ 取組発表 亀田製菓株式会社



▼ 取組発表 株式会社マルチ商事



当日写真 4/5 グループディスカッションの内容

I 「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
企業 スーパー様 ・減塩商品と手に取りやすくする メーカー 市町村イベントに参考画 (課題: 平日開催)	企業 減塩商品と手に取りやすくする メーカー 市町村イベントに参考画 (課題: 平日開催)
関係機関 県 サンプリング説明動画の作成	関係機関 県 サンプリング説明動画の作成
市町村 企業との連携	市町村 企業との連携

やってきたこと
 (大玉村) うまいもの祭り
 交かき味噌汁 ~ リケンさんのだし使用入
 (塩分濃度 0.6, 0.8, 1.0, 1.2%)
 (キッコーマン)
 市町村、人間ドックなど
 塩分20%カット 香りの良いだしを味噌
 リンチ減塩しよう
 (リケン)
 素材だし (風味を活かしてうまみを出す)
 試供品と家庭で使ってもら
 塩分入っていないだし
 みそ汁やおひたしに 追いでだし

K 「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
企業 ミツカン 素材を広げるところから活動 カゴメ 教員へのセミナー & 親へ	企業 ミツカン 素材を広げるところから活動 カゴメ 教員へのセミナー & 親へ
関係機関 福島中央テレビ TVCMを上手く活用 (減塩レシピ) <small>子どもが親を巻き込む</small> 減塩ワークショップでのセミナー・調理実習 福島県栄養士会 継続的な支援、長い目で	関係機関 福島中央テレビ TVCMを上手く活用 (減塩レシピ) <small>子どもが親を巻き込む</small> 減塩ワークショップでのセミナー・調理実習 福島県栄養士会 継続的な支援、長い目で
市町村 町のケーブルTVで健康番組・カレンダーにレシピ 西会津町 健康増進課 継続的かつインパクトある 子どもからのレシピ募集 → 学校給食メニュー → 親へも伝わり 食育 (和食道場) → 食体験 / トマト育てる! (和菜)	市町村 町のケーブルTVで健康番組・カレンダーにレシピ 西会津町 健康増進課 継続的かつインパクトある 子どもからのレシピ募集 → 学校給食メニュー → 親へも伝わり 食育 (和食道場) → 食体験 / トマト育てる! (和菜)

J 「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
企業 スーパーと連携して減塩POPの 掲示による知識の普及 減塩応援店と協力し POP等による減塩商品のアピール 減塩商品のPRと味の体験 年齢毎のイベントの実施 ふくしま健康応援メニューの認知 乳製品を使った食育 メディアを通じた課題認識と 減塩の取組等の情報発信 減塩商品の認知拡大と仕様の拡充	企業 料理教室など実体験を通じて 減塩習慣を定着させる 減塩のコーナー化によるお客様に として選んでもらい易い売場作り
関係機関 行政・メーカー・メディアが連携して 幅広い層へ訴求する	関係機関 行政・メーカー・メディアが連携して 幅広い層へ訴求する
市町村 情報発信による減塩活動 習慣化へのきっかけ作り	市町村 情報発信による減塩活動 習慣化へのきっかけ作り

L 「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
企業 ポン酢の減塩 (おいしく健康に) 検診後のイベント (企業と協同で) 減塩商品の紹介 + 推奨 医療機関と協同セミナー “ミルク和食”を通じて調味料の 学生起業の商品化 代替 減塩 = まず、おいしく作る (市町村 × 小売) 減塩千歳鍋の紹介	企業 家業の共有 店頭で差別化・POPあり 食卓販売
関係機関 医療機関と協同セミナー	関係機関 食卓販売
市町村 減塩 → ポン酢がアクセント	市町村 減塩 → ポン酢がアクセント

当日写真 5/5 グループディスカッションの内容

M

「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
<p>森永</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜たっぷりミルクみそ汁 (塩分3割減) ↑たんぱく質強化 1日3万食予定 学校給食 キッコー 健康応援メニュー 家庭で (マヨネーズには塩分多少ない) サンプルパック 国分寺市 象折町 健康バント 健康管理アプリ アドバイス 多思検査等もサロン (親子向けに食育) ・バシチェック (インセンティブ有) 	<p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トナリ比と下がるような提案 (食育) ・企業同士の連携 → 体験型 ・メニュー提案 学校で講義 (マヨネーズ教室) ・企業・行政とのつながりをつくる <p>関係機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した取組み ① 印刷事務 加工食品の段階で塩分調整 ・環境が変える <p>市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発× → 企業とのつながり ・きまわり作り ・健康意識の低い人にもアプローチ ・親子で意識を変えられる働きかけ <p>教室 検診</p>

N

「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設への助言、健康管理に対する講習会開催 ・6月会有月間 町に産産PRを通し家庭の周知を図 ・高齢者や心身障害者への別注「資料」を配布して ・減塩への教育と家庭への呼びかけと再確認報告の徹底 ・健康推進への付随・減塩食品の推進活動 ・情報発信 ・小石巻市の産物(小麦)の商品構成サポート 	<p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進の「見える化」 → マネジメント ・継続した取組み <p>関係機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校などへの地域連携を通し「食育」 <p>市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産推進者(有識者)の力を借り ・1770年代から健康推進への教育への呼びかけ

O

「グループディスカッション」シート

やってきたこと	できること、できるとよいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・減塩のおいしさを実感できるため商品の提供、イベントの実施 (お味噌汁4.2作りの味) ・女性職員の減塩の必要性 ・お子さんや高齢者の方へ減塩の講習会 ・コプの減塩商品PR 自治体企業連携 → 勉強会 / 料理教室 ・靴と靴下7-7ショップ (勉強会/イベント - 6歳以上対象) ・企業で食育 ・コプ・JA・ボランティア連携して食育 ・単発や場ごとの取り組み(ワークショップ) ・トレッキングをかねた塩分量確認するイベント ・おもしろい・得意な減塩に挑戦 	<p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち減塩商品お買い初めPR (17歳) ・高校生 (1人暮らし) 減塩のお買い初めPR → 実際に調理してもらう(自炊教室) + 塩分量も決める ・スマートビル基準に満たない母体の開発(自治体発注) + 塩分量も企業で決める <p>関係機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学講師 / 料理教室のPR イベントの実施 (減塩食品) ワorkshop (高橋さん) <p>市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業とのコラボ (数年前市長のPR結果 → 7-7ショップの内容に反映) ・子どもたちの減塩、マイミドリを親と減塩に <p>連携</p>

ご意見シート：サマリ

- 77名から回答があり、「多業種・多機関連携の実行」や「子ども・家庭・若年層へのアプローチ」が必要であるとの回答が多かった。

ふくしま減塩推進ネットワーク会議 グループディスカッションご意見シート サマリ

回答者数 77名

- 設問概要
- 所属
 - 氏名
 - 自グループの議論で印象に残ったこと
 - 他グループでの検討内容からの気づき

ご意見・
ご要望

分類	件数
多業種・多機関連携の実行	40
子ども・家庭・若年層へのアプローチ	28
県主導の連携基盤（横のつながり）	20
子ども・家庭中心の食育施策強化	20
体験・可視化の強化	19
おいしさ・ポジティブ訴求	16
おいしさ起点のPR（歌・キャラ・動画）	14
売り場・商品整備、試食→購買動線の強化	11
売り場・商品環境の整備	10
継続性の確保	10
体験・可視化コンテンツの標準化	8
県主導の共有プラットフォーム構築	5
政策的支援（医療費・補助金）	5

アンケート集計結果：サマリ

- ・ 会議参加者のうち46名から回答があり、45名から会議の内容に満足した旨の回答を得た。

ふくしま減塩推進ネットワーク会議 参加者アンケート サマリ

回答者数	アンケート対象者87名のうち45名（回答率51.7%）
設問概要	<ul style="list-style-type: none">・ 基本情報・ 満足度・ 減塩アクションプロジェクトへの参画有無・ 参画可能な時期・ ご感想・ご要望
結果サマリ	<ul style="list-style-type: none">・ <u>満足度</u>：44名がとても満足もしくはやや満足、1名がどちらともいえない・ <u>減塩アクションプロジェクトへの参画意向</u>：参画済み73.7%、参画意向はあるが時期未定5.3%、参画方法が分からない5.3%・ <u>ご感想</u>：<ul style="list-style-type: none">✓ 自治体・企業・メディア等、多様な組織が一堂に会する交流は極めて貴重で、職種を超えた連携や新たな事業意欲に繋がる有意義な場となった。✓ 企業の柔軟なアイデアや先進事例の共有、同規模自治体間での実務的な情報交換により、課題解決や施策を深める多くのヒントが得られた。・ <u>ご要望</u>：<ul style="list-style-type: none">✓ 冬季の移動リスクに配慮し、開催時期の前倒しやオンライン併用のハイブリッド形式、アクセス良好な会場選定など開催方法の工夫を求める。✓ 参加者間のマッチングや日常的なSNS連携の構築に加え、議論内容の共有や具体的な県データ・成功事例の提供など、成果の可視化を希望する。